

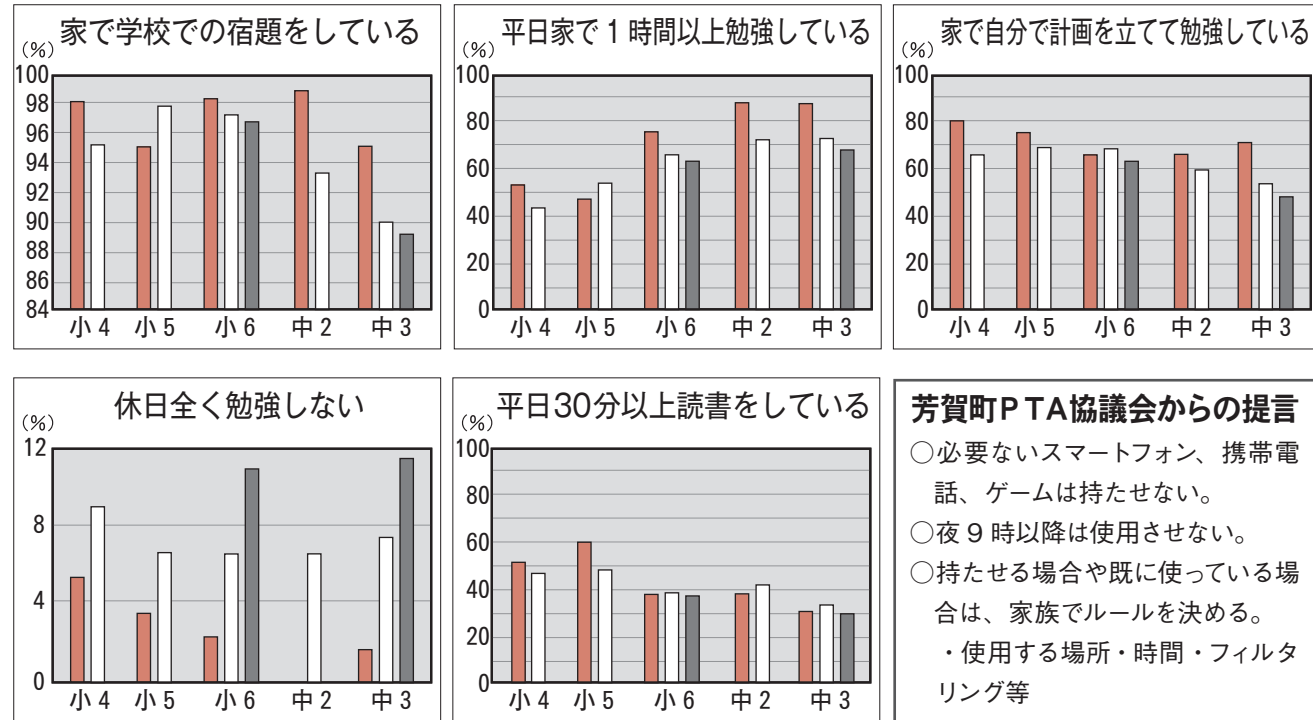


全国学力・学習状況調査 とちぎっ子学習状況調査 結果と分析

〒028(677)1414 栃木県芳賀郡芳賀町

児童・生徒質問紙調査結果

町 県 国 (全国調査は小6・中3のみ)



芳賀町PTA協議会からの提言

- 必要ないスマートフォン、携帯電話、ゲームは持たせない。
- 夜9時以降は使用させない。
- 持たせる場合や既に使っている場合は、家族でルールを決める。
・使用する場所・時間・フィルタリング等

芳賀町の子どもの姿
学力テストで無回答の割合が非常に少ないことから、あきらめることなく最後まで努力する姿が見られます。家庭でも学習や読書、生活の習慣が整い、まじめで素直な子ども像が浮かびます。
今後の各学校・家庭での取り組み
学力の向上には、学校と家庭での学習を両輪とし、連携して進めていくことが必要です。
学校では、正答率の低い問題を分析し、授業の改善を図ります。特に、話し合う活動を積極的に取り入れることで思考・判断・表現力を高め、資料を基に導き出した事柄を文章で表現する力を向上させます。
家庭では、メールやインターネットをする時間が長いほど学力が低いという相関関係がありますので、町PTA協議会からの提言を徹底し、子どもたちの学力向上に取り組みましょう。

町教育委員会では、個別指導、習熟度別学習や読書指導を充実させるため、学習指導助手やJTE（日本人英語指導講師）、ALT（外国人語指導助手）、特別支援教育補助員、学校司書の配置と、マスターズ・ボランティア、学生支援員の活用を継続していきます。また、学力アップ推進会議において両調査の結果を分析し、より学習効果の高い指導法を追求していきます。
芳賀町の子どもたちが、厳しい社会を力強く生きていく上で必要となる「確かな学力」を身に付けられるように、学校・家庭・地域・行政が連携して支援していきます。よろしく。
なお、来年度の調査は平成28年4月19日（火）に実施されます。

全国学力・学習状況調査結果

●小学6年生(158人)の平均正答率

教科分野	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
栃木県	68.9	63.1	73.9	43.0	60.0
芳賀町	全国○ 県○	全国◎ 県◎	全国○ 県◎	全国▽ 県≒	全国◎ 県◎

●中学3年生(135人)の平均正答率

教科分野	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
全国	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
栃木県	75.7	65.2	63.5	40.4	53.1
芳賀町	全国○ 県○	全国≒ 県≒	全国≒ 県≒	全国≒ 県≒	全国◎ 県◎

A：基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題
B：基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

とちぎっ子学習状況調査結果

●小学4年生(152人)の平均正答率

教科	国語	算数	理科
栃木県	65.8	74.3	69.9
芳賀町	▽	≒	◎

●小学5年生(143人)の平均正答率

教科	国語	算数	理科
栃木県	65.8	69.7	57.2
芳賀町	▽	▽	◎

●中学2年生(132人)の平均正答率

教科	国語	社会	数学	理科	英語
栃木県	62.7	60.7	67.3	55.8	59.0
芳賀町	≒	▽	▽	▽	≒

記号の説明

- ◎ 上回っている
- やや上回っている
- ≒ 同等である
- ▽ やや下回っている
- ▼ 下回っている

4月21日に実施された「とちぎっ子学習状況調査」の結果が6月末に、「全国学力・学習状況調査」の結果が8月末に発表されました。調査は全学年対象ではなく、結果はあくまでも学力の一部であることから、学校の序列化や過度の競争につながらないよう、数値ではなく言葉や記号、グラフによる表記で公表します。
全国学力・学習状況調査結果
ほとんどの教科で全国・県の平均を超え、全国上位の道府県と同等の結果でした。小学6年生の国語Bと理科、中学3年生の理科の良さが際立ち、国語Aも良好でした。特に小学6年生の読解力が高く、学校司書の配置、読み聞かせボランティアなど、学校の読書活動の成果と考えられます。
とちぎっ子学習状況調査結果
全体的に県平均と同程度の結果でした。小学校の理

科の良さが際立ちましたが、小中学校ともに平均を下回っている教科があり、それらの改善が課題として残りました。
児童・生徒質問紙調査結果
芳賀町の子どもたちは、宿題の実施率、平日1時間以上勉強している割合、家で自分で計画を立てて勉強をしている割合がほとんどの学年で全国・県平均を上回り、休日に勉強を全くしない児童・生徒は少ない状況です。
朝食摂取率、規則的な起床・就寝をしている児童・生徒の割合も、全ての学年で平均と同程度か大幅に上回っています。
しかし、2〜3割余りの児童・生徒が1日2時間以上テレビゲームをし、中学生では2割前後が1日2時間以上メールやインターネットをしており、中には全国・県平均を上回る学年があることもわかりました。